

### 資金収支計算書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで) (単位:千円)

Table with 4 columns: 収入の部, 予算, 決算, 差異. Rows include 学生生徒等納付金収入, 手数料収入, 補助金収入, etc.

要年度に入学する学生生徒等から受入れた授業料・入学金等。

長期・短期の貸付金の回収額。特定の目的のために成立した預金(退職・減価償却)等を取り崩した額など。

収入として計上したが、未収となっているものや、前受金収入として前年度まで既に受入れている収入を差引くことにより、資金の収入額を調整するもの。

土地、建物、構築物等。

教育研究用の機器備品、その他の機器備品、図書などを取得するための支出。

支出として計上したものの、未払いとなっているものや、前受金支払いとして前年度までに支払っている経費を差引くことにより、資金の支出額を調整するもの。

#### 【語句説明】: 資金収支計算書にのみ表れる主な科目

【資産売却収入】 不動産、有価証券などの固定資産の売却による収入をいいます。

【前受金収入】 要年度分の学生生徒等納付金が当年度に納入された収入をいいます。

【資金調整勘定(資金収入調整勘定、資金支出調整勘定)】 資金収入調整勘定とは当年度の諸活動に対する収入で、前年度以前に資金の収入になったもの、および当年度の諸活動に対する収入で、要年度以降に資金が受け入れられるものです。

### 【語句説明】: 資金収支及び消費収支計算書に共通して表れる主な科目

【学生生徒等納付金】 在学を条件とし、又は入学の条件として、所定の額を義務的にかつ一律に納付すべきものです。

【手数料】 入学試験、転入学試験のために徴収する収入です。具体的には、入学検定料、試験料、証明書発行手数料をいいます。

【補助金】 国・地方公共団体及びこれに準ずる機関から交付される補助金をいいます。

【資産運用収入】 預貯金や有価証券等の利息・配当金収入及び所有する施設の賃貸などの収入をいいます。

【事業収入】 食堂、売店、寄宿舎等の補助活動収入、外部から委託を受けて行う受託事業収入などをいいます。

【雑収入】 学校法人に帰属する上記の各収入以外の収入をいいます。これには、私学財団から退職金資金その他の交付金を受けたときの収入も含まれます。

【人件費】 専任教職員、非常勤講師などに支給する本俸・期末手当・その他の手当・所定福利費、理事及び監事に支払う報酬などをいいます。

【教育研究経費】 教育研究のために支出する経費をいいます。

【管理経費】 総務・人事・経理業務や学生を募集するために支出する経費などで、教育研究以外の経費をいいます。

## 学校法人 九州国際大学 平成23年度 決算状況

平成23年度消費収支決算は3億4,815万円の消費支出超過となっています。帰属収入は、38億2,234万円となり、予算比で1,995万円の増加となりました。また、前年比では、3,386万円の増収となっています。

### 貸借対照表

(平成24年3月31日現在) (単位:千円)

Table with 4 columns: 科目, 平成23年度, 平成22年度, 増減. Rows include 固定資産, 流動資産, 負債, 純資産.

校舎・体育館等の建物及び建物付属設備(空調等)の額。

教育研究のために使用される機械設備の額。

決算日(3月31日)における未収額。

返済期限が1年以上の借入金。

平成23年度末に教職員が退職した場合に支払われる退職金の見積額。

返済期限が1年以内の借入金。

要年度に入学する学生生徒等から受入れた授業料・入学金等。

財政的な基礎を確保する観点から、本学が安定的かつ持続的に経営していくために必要な額。

#### 【語句説明】: 貸借対照表に表れる主な科目

【有価証券】 国債・地方債・社債・金融債・株式などがあり、会計年度末後1年をこえて保有する目的のものは「その他の固定資産」に計上します。

【〇〇〇引当特定資産】 施設の増設や改築、機器備品その他の設備の拡充や買い替え、退職金の支払いなど、将来の特定の支出に備えるために資金を留保した場合に設ける勘定科目です。

【現金預金】 現金、銀行の各種預金、郵便貯金などです。「現金預金」の額は、資金収支計算書の「次年度繰越支払資金」と一致します。

【借入金】 「長期借入金」は、返済期限が年度末後1年をこえて到来する借入金で、「固定負債」に計上します。「短期借入金」は、返済期限が年度末後1年以内に到来する借入金で、「流動負債」に計上します。

【預り金】 給料・報酬などにかかる源泉所得税、住民税など学校法人の帰属収入にならない、他に支払うための一時的な金銭の受入額をいいます。

【消費収支差額】 当該年度以前における各年度の消費収入から消費支出を差引いた差額の累計額です。消費収支計算書において、消費収入のほうが消費支出より多い場合その差額を「消費収入超過額」といい、逆の場合は「消費支出超過額」といいます。

### 【企業会計と学校法人会計の違い】

企業会計では、会計によって主として収益と費用を正しくとらえて、営業年度の正しい損益を計算し、併せて企業の財政状態、すなわち資産、負債及び資本の状態を知ることによって、より収益力を高め、財政的安全性を図ることを目的としています。

一方、学校法人は、教育研究活動により社会に有為な人材を育成することを目的とし、その収入の多くは学生生徒等の納付金や国や地方公共団体からの補助金で構成されている極めて公共性の高い公益法人であり、企業のように収益の獲得を目的とすることはできません。

【資金収支計算書】 当該会計年度に行った諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容を明らかにし、支払資金(現金及び預貯金)の収入及び支出の円末を明らかにするものです。

【消費収支計算書】 当該会計年度の消費収入と消費支出の内容及び均衡の状態を明らかにし、学校法人の経営状況を表すものです。

【貸借対照表】 決算日(年度末)における資産、負債、基本金および収支差額を明らかにし、学校法人の財政状態を表すものです。

### 消費収支計算書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで) (単位:千円)

Table with 4 columns: 収入の部, 予算, 決算, 差異. Rows include 学生生徒等納付金, 手数料, 寄付金, etc.

帰属収入とは、学校法人の負債にならない収入。

消費収入とは、帰属収入から基本金を組み入れた後の額。

消費支出とは、学校法人が諸活動を行うために支出する費用で、消費収入により補われる。

消費収入から消費支出を差し引いた金額が消費収支差額(収入超過または、支出超過で表示)。

#### 【語句説明】: 消費収支計算書にのみ表れる主な科目

【資産売却差額】 不動産や有価証券などを売却し、その売却収入が帳簿残高を超えた場合、その超過額をいいます。

【帰属収入】 学校法人のすべての収入のうち、負債とらない収入(学生生徒等納付金、手数料、寄附金、補助金など)をいいます。

【消費収入】 消費収入は、消費支出に充当できる収入のことで、帰属収入から基本金組入額を控除して算出されるものです。

【基本金組入額】 学校法人が教育研究活動を行っていくためには、校地・校舎・機器備品・図書・現預金などの資産を保有し、これを永続的に維持する必要があります。学校会計では、当該年度にこれらの資産の取得に充てた金額を基本金へ組入れる仕組みとなっています。

【資産処分差額】 不動産や有価証券などを売却し、その売却収入が帳簿残高を下回った場合、その差額をいいます。

【消費支出】 消費支出は、人件費、教育研究経費、管理経費、借入金利息などの当該年度に発生した費用です。資金支出のほかに、退職給与引当金繰入額や減価償却額が計上されています。

### 消費収支関係財務比率

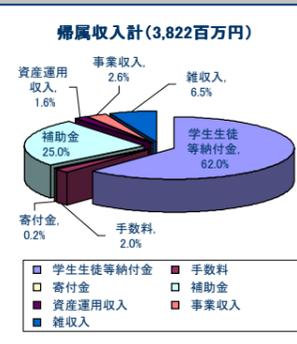
Table with 6 columns: 比率, 算式, 平成20年度, 平成21年度, 平成22年度, 平成23年度, 評価. Rows include 人件費比率, 教育研究経費比率, etc.

(注) 1. 財務比率の評価は、個々の学校法人に適用する場合に内部事情等を個別に判断しなければ一概にその良否をいえないが、財務比率の高低の評価を以下のとおりとしています(私学事業団:平成23年度今日私学財政参照) [△ 高い値が良い ▼ 低い値が良い - どちらともいえない]

### 貸借対照表関係財務比率

Table with 6 columns: 比率, 算式, 平成20年度, 平成21年度, 平成22年度, 平成23年度, 評価. Rows include 固定資産構成比率, 流動資産構成比率, etc.

#### 帰属収入に対する各費目の占める割合



#### 消費支出に対する各費目の占める割合

